

株式会社テクノ高槻

電磁式ダイヤフラムを開発
エアープンプ界のトップに

海外発注可
期相
企画力自信有
コスト相
オンライン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



数々の特許を持つ「ハイブロー XP」

業務内容

暮らしを支えるエアープンプのトップメーカー

テクノ高槻が世に送り出したエアープンプ「ハイブロー」は、すでに1200万台を超える。家庭内では観賞魚の水槽や家庭用浄化槽、医療分野では床ずれ防止マットや介護浴槽、エアーマット等、また、産業界では自動販売機、真空パック機やガスバーナー等、さらには、水処理プラントや大気分析装置といった地球環境に関わる分野でも利用されている。中でも家庭用浄化槽は世界市場の40%という高いシェアを持ち、近年は家庭用燃料電池「エネファーム」でもトップの地位を確立。「モータ事業で創業し、昭和42年にハイブロー第1号機を誕生させてからは、エアープンプ一筋に打ち込んでまいりました」と川崎社長。

強み

世界初電磁式ダイヤフラムポンプを開発

同社の技術のコアになるのが、「電磁式ダイヤフラム」だ。昭和42年に世界で初めて開発に成功し、エアープンプ「ハイブロー」として製品化された。これは電磁の力を使ってリニア駆動させるため起動トルクが小さく、制御性に優れている。また、振動部に特殊なゴムを使うことで耐久性をアップ。摺動部がないため潤滑油が不要で常にクリーンな状態で使うことができる。さらに消費電力は同社の従来品より約16%減という省エネ構造だ。この電磁式ダイヤフラムブローは、24件の特許と14件の実用新案を取得し、世界40か国以上に出荷されている。

技術開発

NEDOに採択されたエネファーム用ブローの技術

「浄化槽以外にも市場を広げたい」と考えた同社は、燃料電池分野に着目。平成17年からNEDOの「家庭用燃料電池システムの燃料昇圧ブローの技術開発」に採択・製品化された。これは燃料となる都市ガスやLPガスを昇圧して燃料電池システムに供給するためのブロー（送風機）で、高い基本性能と安全性・低コストが求められる。開発した「FC-0520N」はエネファームの市場で高く評価され高いシェアを獲得している。

また新エネルギーベンチャー技術革新事業では、燃料電池用の水素循環ブローの技術開発が採択された。水素を扱うため特に高い安全性と耐久性が不可欠だが、九州大学とも連携し3年以内の実用化を目標としている。



NEDOに採択され完成した「FC-0520N」

今後の展望

脱化石燃料を目指して次世代社会に貢献したい

「エネファーム用ブローの技術を、未来の社会に応用したい」と川崎社長。燃料電池で走る自動車「FCV」は、近未来に活躍するはず。そこに搭載される移動式の燃料電池システムに、同社の水素循環ブローが採用されることを目指している。

COMPANY PROFILE

株式会社テクノ高槻

開西 23
ISO 9001
ISO 14001

当社の歴史

昭和22年に先代がモータ修理業からスタートさせました。昭和26年に大手家電メーカーの協力工場となりますが、自社製品をつくろうと昭和42年にエアープンプの開発と製造を開始し、以降この道一筋です。現在、国内では研究開発を中心に行っており、製造は海外拠点で行っています。今後も地球規模でのグローバル展開を目指しています。

お客様のご要望以上の品質を提供することが、ものづくりだと思います。

代表取締役社長 川崎 望さん



■主な事業内容

エアープンプの製造・販売等

■主な取引先（納入先）

電気機器メーカー、寝具メーカー等

住所／〒569-0095
高槻市八丁西町8-16
TEL／072-684-0805
FAX／072-684-0807
創業／昭和22年4月
設立／昭和31年1月
資本金／7,760万円
従業員／120名

<http://www.takatsuki.co.jp/>